

大規模事業評価調書

事業名・場所		航空隊庁舎建設整備事業		八尾市空港2-12													
担 当		消防局 総務部 施設課 防災基盤整備 担当 (連絡先 06-4393-6153)															
事業の概要	事業目的	【事業目的】 庁舎の狭隘化及び消防ヘリコプターの大規模に伴い格納庫を拡大する必要があるため、庁舎建替えによりヘリコプターの活動拠点施設の機能強化を図る。															
		【上位計画等における位置付け】															
		計画名等	策定年度	位置付け													
	【特別職による意思決定事項等】																
	会議名等	決定年月日	内容														
事業内容	八尾空港内の航空隊庁舎の整備 (建替え)																
事業実施体制	<ul style="list-style-type: none"> 標準プロポーザル方式による設計・監理業務委託 事後審査型制限付一般競争入札による工事発注 																
事業規模	<p>【事業規模】 敷地面積：(現行) 1,164㎡ (拡張後) 1,900㎡ 建築面積：1,100㎡、延床面積：2,000㎡ (内格納庫部分：720㎡)、鉄骨造 3 階建</p> <p>【事業費等】 [全体事業費] 1,063,843,000 円 (事業費内訳) (財源内訳)</p> <table border="0"> <tr> <td>・設計費</td> <td>86,083,000 円</td> <td>・特定財源 (府負担)</td> <td>531,923,000 円</td> </tr> <tr> <td>・建設工事費</td> <td>953,701,000 円</td> <td>・起債 (緊防債)</td> <td>518,000,000 円</td> </tr> <tr> <td>・その他賃借料</td> <td>24,059,000 円</td> <td>・税等</td> <td>13,923,000 円</td> </tr> </table> <p>[維持管理費] 約10,000,000 円/年</p> <p>【関連事業の内容等】</p>					・設計費	86,083,000 円	・特定財源 (府負担)	531,923,000 円	・建設工事費	953,701,000 円	・起債 (緊防債)	518,000,000 円	・その他賃借料	24,059,000 円	・税等	13,923,000 円
・設計費	86,083,000 円	・特定財源 (府負担)	531,923,000 円														
・建設工事費	953,701,000 円	・起債 (緊防債)	518,000,000 円														
・その他賃借料	24,059,000 円	・税等	13,923,000 円														
事業スケジュール	(令和3年度) 基本設計 (令和4年度) 実施設計 (令和5年度) 建設工事 (令和6年度) 建設工事・解体工事 (令和7年度) 解体工事・建設工事 (令和8年度) 建設工事・竣工																
(1) 事業の必要性	庁舎の狭隘化が著しく、大阪府の緊急消防援助隊受援計画におけるヘリコプター活動拠点 (ヘリベース) としての待機スペースの確保も求められる。また、現有ヘリコプターが大型機種に更新される令和8年度末までに格納庫の狭隘化を解消しなければならないことから庁舎建替えにより防災拠点としての機能強化を図る必要がある。																
(2) 事業効果の妥当性	大型化する消防ヘリコプターの更新に対応可能な格納庫を整備し、狭隘化した庁舎の建替えにあわせて航空隊基地として必須の諸室整備を行い、緊急消防援助隊受援計画に対応可能なヘリコプター活動拠点を整備することにより災害対策の中核機能を担う防災拠点としての機能強化を図る。																
(3) 事業費等の妥当性	<p>【実施場所】 八尾市空港2-12 (八尾空港内) ※大阪市内に近接し、かつ、市内署所の救助隊と迅速に連携可能な空港は八尾空港しかなく八尾空港以外の場所での庁舎整備は困難なため、同地内を拡張して建替える必要がある。</p> <p>【施設規模】 建築面積：約1,100㎡、延べ面積：約2,000㎡ (格納庫：約712㎡、部品庫・工作室等：約91㎡、出動準備室：約62㎡、研修室：約72㎡、資器材庫等：約49㎡、機械・電気室等：約92㎡、事務室・食堂等：約151㎡など)</p> <p>【事業費】 城東消防署建替工事 (H29年度竣工) @477千円/㎡を参考に本工事費は@455千円/㎡ 参考：他都市同等規模施設 (福岡市消防局航空隊庁舎) 工事費750,000,000円 (H31年度竣工、移転建替：工期2年) @379千円/㎡に対し、本工事は@455千円/㎡ (ローリング建替及び工期4年)</p>																
(4) 事業の継続性	<p>【維持管理費】 約10,000,000 円/年</p> <p>【収支見込】 ※該当する事業のみ</p>																

<p>(5) 安全・環境への影響と対策</p>	<p>[安全] 市設建築物の耐震計画技術指針に基づき耐震性の確保、自家発電設備（長時間型）及び燃料備蓄の設置等を行う。</p> <p>[環境] 市設建築物設計指針（環境編）に基づき、エネルギー消費の抑制やヒートアイランド対策など配慮する。また、空港敷地内に現存する航空施設の建替えのため、騒音・振動や大気・環境等に与える影響は極めて少ない。なお、八尾市中高層建築物指導要綱及び八尾市景観計画に適合するよう周辺環境に配慮した計画とする。</p>
<p>(6) 事業の整備・運営手法等の検討状況</p>	<p>[PPP/PFI手法等の検討結果]</p> <p>令和2年度にPPP/PFI検討に伴う簡易検討を実施した結果、定量評価において一定の財政支出の削減が期待されるものの、ヘリコプター活動拠点施設である航空隊庁舎にあつては、災害対策の中核機能を担う施設としての性質のほか、航空隊基地として特有の仕様を細かに指定又は制限して設計整備する必要があり、民間事業者の経営ノウハウや創意工夫を取り入れる要素が少ないため、当該施設の特性・性質上、PFIに馴染まないものと判断した。</p> <p>[施設マネジメントの検討結果（施設の複合化・多機能化及び有効活用等）]</p> <p>民間への委託業務によるヘリコプターの運用体制については、災害発生時に委託先へ連絡した後の出場となることから出場時の即応性が低下し、災害対応時の消防機関との連携活動にも支障が生じ、従来の迅速性、効果的な活動及び安全性が劣り市民サービスの低下を来す。また、空港施設のため他施設との複合化、多機能化等も安全管理及び保安上から困難。</p>

別図 所在地(航空隊庁舎建設整備事業)

○所在地:八尾市空港2-12

○位置図



○拡大図



①格納庫棟 ②庁舎棟